

第20回 つがる市総合文化祭 10月26日(土)、27日(日)

舞台発表部門 会場：松の館交流ホール

26日(土)

9時00分 開会行事
9時20分 つがる宝生会(謡曲)
10時00分 木造民謡愛好会
11時00分 野の花会(日舞)
11時40分 昼食・休憩
12時30分 コーラス 華
13時30分 レディース・つがる
14時30分 コーラス 薔の会
15時30分 稲垣歌謡クラブ

27日(日)

10時00分 稲垣レクダンスサークル
10時50分 木造高校 OB 吹奏楽団
フレンドリー
11時40分 マーメイド歌の会
12時20分 昼食・休憩
13時00分 つがる逍遥会(日舞)
13時50分 木造カラオケ教室
14時30分 閉会行事



発表部門 会場：松の館2階和室

◆茶道 26日(土)10時～15時 表千家茶道稲垣サークル
27日(日)10時～15時 遠州流茶道木造支部

作品展示部門 26日(土)開会行事終了後～16時、27日(日)9時～12時

- ①会場：松の館1階ロビー ◆絵画 木造チャーチル会
2階視聴覚室 ◆華道 浅草遠州一濤流一濤会
②会場：木造体育センター
◆写真 つがる写真クラブ・木造フォト遊
◆書道 書の会玉華・車力書道会・双龍書道会・清影書道会
◆絵画 つがる市稲垣木版画サークル
◆手工芸 つがるこよりの会
◆盆栽 つがる市盆栽会

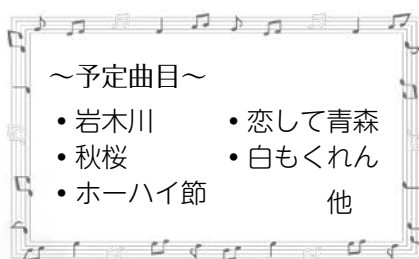
行政相談コーナー 26日(土)、27日(日)10時～14時・松の館1階ロビー つがる市行政相談委員

27日(日)

「サエラ スペシャルコンサート」つがる市文化団体協議会20周年記念事業

入場無料 会場：松の館ホール

14時30分 開場
15時00分 開演
16時30分 終了予定



【問い合わせ先】

つがる市総合文化祭実行委員会

尾野 電話090-7561-1544 川嶋 電話090-8781-7486

つがる市読書まつり

日時：10月27日(日)10時～12時

場所：市立図書館セミナー学習室

◆おすすめ絵本貸出(年齢別)

つがる市読書推進連絡会のメンバーが、年齢にあった絵本を選びました。メッセージカード入りです。おうちで楽しく読んでね! 0～2歳用、3歳用、4～5歳用、小学校低学年用、中学年用、高学年用。市立図書館の本の貸出期間は2週間。貸出冊数は1人5冊までです。

◆無料ブックコーティング

あなたの大切な本をコーティングします(1人1冊まで)。

◆手作り絵本(無料・制作時間30分程度)

世界にひとつだけの絵本を作ってみませんか。※先着20人、5歳以下は保護者同伴。

◆古本市

保存期間が過ぎた本を無料で差し上げます。



つがる市読書推進連絡会

【問い合わせ先】 社会教育スポーツ課 電話49-1200

農・商・工が
手をつないで

つがる市食と産業まつり2024開催！

10月19日(土)10時～16時・20日(日)10時～15時

(19日9時30分～ オープニングセレモニー)

伊藤鉱業アリーナつがる

農商工の連携により地産地消や農産物の高付加価値化を促進し、地域経済の活性化につなげることを目的として、市の「ブランド」・「食」・「産業」が一堂に会した「食と産業まつり」を開催します。

今年も昨年に引き続き「伊藤鉱業アリーナつがる」で盛大に開催します。

【ブランド部門】 つがるブランド農産物・認定商品の販売、PR

【食部門】 つがる市の食や特産品の販売、PR

【産業部門】 農水産物の販売、PR・工業製品・産業機械等の展示、販売

※その他、ステージイベント、お楽しみ抽選会等イベント盛りだくさん！

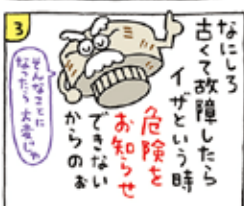
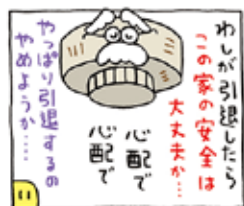
【問い合わせ先】 市商工会 電話42-2449



※詳細は、決まり次第
市商工会ホームページ（QRコード）で
お知らせします。



「住宅用火災警報器」の設置は、消防法により義務化されています！



とりかえ
通信

住宅火災報知器の「？」を、
マンガで紹介するよ！



出典元：一般社団法人 日本
火災報知器工業会

【問い合わせ先】
消防本部予防課
電話42-7744

広 告

国家資格塗装職人のお店
三栄塗装工業株式会社

一般建設業 県知事許可(般-27)第017671号

担当 三上(一級塗装技能士/五所川原塗装工業会会員)
WBアート 多彩仕上工法 施工認定店

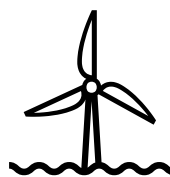
職人から独立、創業25年目を迎えました。
これからも地域のみなさまに愛される塗装店を目指して参ります。
屋根・外壁のお見積り・現地調査無料、まずはお気軽にご相談ください。



住所/つがる市木造林宮津12番地3 登録番号/T8420002012423
☎ 0173-42-3818 ☎ 090-7067-5628 ✉ sanei.p@nifty.com

広 告

持続可能な世界のために
世界をリードする再生可能エネルギー会社



RWE

大規模な洋上風力発電の開発、建設、運営
RWE Renewablesの洋上風力設備容量は世界第2位！

RWE Renewables Japan G.K.

(本社) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館5階
電話:(03) 6230 9374
(青森オフィス) 〒038-3277 青森県つがる市木造大畑朽葉213
電話:(0173) 26 5858

<https://jp.rwe.com>

こんにちは！ 地域おこし協力隊です

市に移住し、ヨソモノ・ワカモノの斬新な視点で
地域おこしに取り組む隊員たちが、市の魅力や日々
の活動などを報告します。

成田 久美子 隊員

こんにちは。つがる市地域おこし協力隊2年目の成田久美子です。つがる市に移住してまもなく1年半になります。先月号の広報で夫のクレーンマン（本名 成田邦治）がお伝えしていましたが、私も夫と一緒に複数の農家さんのもとで研修をさせていただいております。それぞれの農家さんのカラーがあり、どの農家さんもととても親切にたくさんのお話を教えてくださいます。去年も研修をしていたといえ、新たに学ぶことが多く感じられ、いかに去年は無知の状態でのスタートであったのか、いかにあつという間に時が過ぎ去っていったのかを改めて実感しています。

今年は自宅で小規模の家庭菜園を始めてみました。6種類くらいの野菜の種を植えて、トマト・かぼちゃ・枝豆は収穫まで無事に栽培できました。お世話になっている農家さんでもこれらの野菜を栽培しており、色々とアドバイスを頂いたり、実際に作業を手伝わせていただいたりと、お米作り以外も学ぶことができ、楽しく研修の日々を送ることができています。

私がつがる市でやりたいことのひとつに『地域の方々とヨガをする』があります。この度素敵な縁をいただき、8月につがる市総合体育館にて開催され



お世話になっている研修先農家さん

た「ヨガフェスティバル」にインストラクターとして登壇させていただきます。津軽地域のインストラクターが集まり、約100名のお客様と一緒にヨガができたことは、本当に貴重な経験となりました。お子様もたくさん参加して下さったキッズヨガレッスンでは、『お米ヨガ』というオリジナルレッスンを夫婦で行いました。ヨガを通してお米作りやお米農家さんのことを、お子様たちに少しでも伝えることができたかなと思っています。



インスタグラム
QRコード

今後もお米作りを学びながら、農家の方々・地域の方々にヨガを伝えていけたらと思っています。

インスタグラムで地域起し協力隊の活動、ヨガ活動を発信中です。ぜひ見て頂けると嬉しいです！

CIR Column 国際交流員 コラム

馬市まつりを振り返って…

暑い夏の日々が終わり、ようやく秋の季節に入ってきましたね。そろそろ紅葉の時期となりますが、今回は夏の終わりの象徴でもあるつがる市馬市まつりについて書きたいと思います。

つがる市馬市まつりは毎年8月下旬の連続する3日間に開催されます。ステージ上のパフォーマン、屋台、メインイベントのパレード、新田火まつり、花火など、県内のねぶた祭りが全て終わっていてもつがる市では祭り気分は続きます。馬市まつりの由来は1900年代に木造地区で始まった馬のせり市にあります。東北三大馬市に数えられるほど大きくて有名なせり市でしたが、現代の機械化や農業技術の進歩により馬の力は使わなくなり、馬市は全国で消えていきました。

はるか昔のつがる市に大きな影響を与え、犠牲になった馬たちへの思いを込めて、1975年に「馬市まつり」が始まりました。多くの市民の皆さまは小さい頃からまつりに参加しているかと思いますが、パレードでは数々の手作りの馬ねぶたが木造町内を周り、面白い仮装をした団体も出て踊りなどを披露します。今年の馬市まつりでは『トイ・ストーリー2』に登場するブルズアイの馬ねぶたがとても印象的でした。少し顔が怖いドラえもんとかまのプーさんの仮装も別の意味で印象に残りました…（笑）

市職員チームと一緒にパレードの流し踊りに出るのは3回目となりましたが、今年はいじめて夜の部の新田火まつりに出ることができました。最初は火がついている松明を持つことに緊張しましたが、他の巫女さんたちと何回も練習しているうちに火の舞の流れに慣れ、本番の時には怖がらずに披露することができました。

オリビア・スナイダー

新田火まつりは昼の部のパレードと雰囲気が大きく変わります。パレードでは「ジャンボリミッキー」やAldoなどの曲を流して賑わう、明るくて楽しい雰囲気ですが、火まつりが始まる頃は外が暗くなり、少し不気味な感じになります。顔を真っ白に塗った大巫女や鬼の面を被って動き回る人間、笹の葉を振る音や空中を浮くように揺れる火の玉、どれも背筋をゾッとさせる光景です。しかし見た目が怖くても、新田火まつりは亡馬の霊を昇天させるまつりの重要な一部です。多くの人が時間をかけて丁寧に作った馬ねぶたは全て燃やされ、その灰は地面へと落ちていくが馬の魂は天国へと舞い上がる。とても詩的で美しくもあります。現代のアメリカではこのような伝統やレモニーがなく、昔はアメリカ大陸の先住民たちが馬や狩られたバッファローのために似たような祭式を行っていたと思われる。古き時代の出来事でも、新田開拓に尽きた馬を思い、馬への感謝の気持ちを込めたまつりをつがる市が続けて開催してきたことは素晴らしいと思います。外国人が普段思い浮かぶ「トイ・ストーリー」な日本、つまり神社や侍ではなく、また違う意味で伝統的な日本文化を経験する機会が与えられて、とてもラッキーだなと感じました。



新田火まつりで松明を振る私！